



昭和31年ごろの三角屋交差点

シリーズ ふるさと再発見・地区めぐり

大熊町を端から端まで
知りつくさう！

〒979-1302 第2回は小入野です。

今回の地区の範囲は大字小入野全域です。

「三角屋も昔の面影は無くなつてしまつたな」と古いア

字名では西大和久・東大和
久・東平・向畠になります。
この地区は平坦な地形で田園
風景がひろがっています。
また、中央には国道六号線
が走り、町内随一、交通量の
激しい所です。

沿線はパチンコ店、ひと昔前はボーリング場などもあつて車時代のレジャーの先駆けとなつた所でもあります。大正末期ごろから通称「三宅」で「角屋」にお住まいの小林さん宅でお話を伺いました。

料や松の根っこからは、松ヤニを取つて燃料にするために国道に整備され広い道路になつた。交差点の真ん中に三本松が残つたが、松食い虫にやられたのと交通量が多くなつた

こともあつて十数年前切られてしまつた。

国道最初の乗合自動車は昭和二年頃から走っていた。そ

たが、昭和二十六年に再開) 熊川から大野に通じる道路は馬車が通れるほどの一本道で家はまばらで追剥ぎが出る物騒な淋しい所だった。こ



野馬形地区の盆踊り



大和久地区の盆踊り

にもバスが通るようになつたのは戦後の同時期で、それから沿線が開拓され、開けていつた。

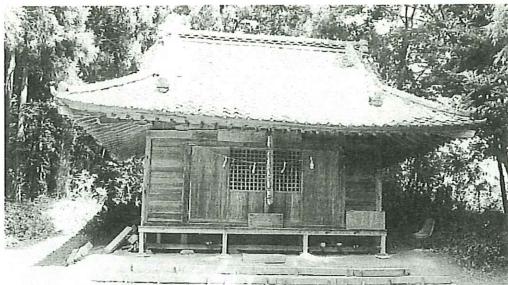
大和久地区は大野の溜め池から水を引くことができたので早くから田んぼがあつた。
お祭りは「妙見さま」(大和久神社)でやつていた。芝居小屋も立つたりして賑わつた。
青年団長やつていたから頑張つたもんだ。

今はまだ森林も残っている
から猪が出て作物を荒らしたりするが、本当に変わつてしまつた。||

アルバムを見ながら当時を

懐かしみ、感慨に耽つておら
れる姿が印象的でした。

私たちの訪問がタイムカプ
セルを開かせてしまつたよう
でした。



海渡神社

海渡神社

参道は鼻をつつかえるよう
に急な階段になつていてお参

りするのに一苦労。

夏草はきれいに刈り払われ
ており、地区の人々の信仰の
深さがうかがえます。

神社の床下には蟻地獄の巣
が一面にあり、子供の頃、虫
を落として遊んだことを思い
出させる静寂な空間があります。

旧小入野地区（東平）は小
入野川沿いに田んぼが広がり、
海岸線からの岩盤を背に家が
あります。海渡神社は古来よ
り航海、漁業などの守護神と
して祀られています。

「うみわたり」という呼び
名から古人は海を渡つて来て
この地に住みついたのではないか
というロマンを彷彿とさせ
てくれました。

※ 次回は熊川を予定してい
ます。

地区の自慢、名物、とつて
おきの話、昔の写真などをお
寄せ下さい。

ふれあい ひろば



この先に神社が

中央台婦人学級

私達中央台婦人学級は、平
成十年四月に開講して今年二
年目を迎えたばかりです。他
の地区では、十年以上も前か
ら活動していることを聞き、
自分たちの地区においてもな
んとかしよう、区長さんを
はじめ、地区の皆さん、そし

く、二八名で活動しています。
主な活動は、資源ゴミの回
収、地区への奉仕等です。昨
年は、移動教室で、安達地方
広域行政組合清掃センターを
見学してきました。

これからますます
重要な問題となるゴ
ミについて学んでき
ました。

また地区において
は、公民館の清掃、
地区内道路の空カン
拾い等を実施してい
ます。

当地区の学級生は
年齢層に幅があり、
全員で活動すること
はありませんが一人
一人が、できる時に、
できる事を、無理を
しないで、楽しみな
がら、一步一步進
んで行こうと思つてお
ります。



て公民館のご指導を仰ぎなが
らの出発でした。

「婦人の教養の向上と親睦
と融和を図る」ことを目的と
し、無理せず、楽しく、未永